

素案	対案	対案の修正案
<p>島田市は、はるか南アルプスに源を発する大井川の恩恵を受け、江戸時代には宿場町として、明治以降は木都として栄え、全国有数の一大茶産地として発展してきました。</p> <p>戦後は他の自治体に先駆けて、国外都市との交流を図り、多様性を受け入れる文化を脈々と受け継いできました。</p> <p>地方分権の進展や少子高齢・人口減少社会の到来などにより、成長と拡大を基調としてきた社会の仕組みや制度からの転換が求められているなか、次世代に個性豊かな島田市を引き継いでいくためにも市民等、議会、市長等が互いに尊重し合い、助け合いながらまちづくりを進めていく必要があります。</p> <p>まちづくりには個人の考えを熟成させる「とき」、発展的な解決へ導く姿勢で臨む「対話の場」が重要です。</p> <p>これからも島田市が輝けるまちとして歩んでいけるよう、まちづくりの基本理念を共有し、協働のまちづくりを実現するために、島田市自治基本条例を制定します。</p>	<p>島田市は、はるか南アルプスを源とする大井川が流れ、江戸時代には東海道の宿場町として、明治時代には木都として栄え、以降は全国有数の一大茶産地として、大井川からの天与の恵みを受け、発展してきました。</p> <p>かつて、駿河と遠江との国境であった大井川は、今では市域の中心を流れ、地域社会を形成し、市民一人一人の心を結び付け、絆をつなぐ象徴となっています。</p> <p>私たちには、大井川とともに育んできた歴史あるまちをさらに発展させ、次世代に引き継ぐ責任があります。</p> <p>しかしながら、地方都市は、人口減少社会の到来や地方分権の進展等により、大きな転換が求められています。</p> <p>こうした時代に迅速に対応するためには、市民一人一人が郷土愛を胸に、地域、性別、世代等を越え、参加し、共に考える市民主体のまちづくりを進めていく必要があります。そのためには、市民・議会・行政がそれぞれの役割を担い、自助・共助・公助の精神に基づき、発展的な解決手法を模索し、話し合う時間を刻んでいくことが大切となります。</p> <p>大井川が普遍的な存在であるように、私たちは、後世でも語り継がれ、市民であることを誇りに思える魅力ある島田市を創造するため、市民等自らが考え、協力し、行動していく協働のまちづくりの規範となる島田市自治基本条例を制定します。</p>	<p>島田市は、南アルプスを源とする大井川が流れ、江戸時代には東海道の宿場町として、近代以降は木都、全国有数の一大茶産地として、大井川からの天与の恵みを受け発展してきました。</p> <p>かつて、駿河と遠江との国境であった大井川は、川留めによってそれぞれ地域社会を形成しましたが、今では市域の中心を流れ、私たちの心を結び、絆をつなぐ象徴となっています。</p> <p>今、地方分権の進展や少子高齢化社会の到来などにより、これまでの社会の仕組みや制度からの転換が求められている中、私たちは、この歴史あるまちをさらに発展させ、次世代に引き継いでいかなければなりません。</p> <p>そのためには、一人一人が郷土愛を胸に、地域、性別、世代等を越えて協力していくことが必要であり、市民等・議会・行政がそれぞれの役割を担い、自助・共助・公助の精神に基づき、発展的な解決手法を模索し、話し合う時間を刻んでいくことが大切となります。</p> <p>大井川が普遍的な存在として語り継がれているように、後世でも語り継がれ、誰もが誇りに思える魅力ある島田市を目指し、私たち自らが考え、協力して行動していく協働のまちづくりを実現するため、島田市自治基本条例を制定します。</p>
<p>384 字</p>	<p>538 字</p>	<p>493 字</p>